

じょうりりに行こう
セッションvol.8

チェロ十人形

昨年も大好評だったスタンさんのチェロとのセッション。今年も徳島での演奏のためにフランスから来日されます。今回のメイン曲は、日本のクラシック界の天才、黛敏郎が義太夫節をモチーフに作曲した「BUNRAKU」。

「とても難しい曲であると同時にとても興味深い曲です。チェロが時折三味線に変身するよつな感を受けます。」(スタン)



勘緑&木偶舎(人形)

元(財)文楽協会技芸員、人形座「木偶舎」主宰。高校の頃から人形を遣い、早稲田大学で演劇を学び、中退後1977年文楽の世界に飛び込む。1979年二世桐竹勘十郎(人間国宝・故人)に入門。1987年から三世吉田蓼助(人間国宝)に師事。人形浄瑠璃の普及・発展と文楽人形の新しい可能性を求めて、2012年1月、33年間在籍した文楽座を辞しフリーの人形遣いに。全国各地の人形芝居の指導・演出や、徳島県の農村舞台復活にも積極的に取り組んでいる。



スタン デュゲ Stann Duguet (チェロ)

フランスヴォージュ県出身。6歳よりチェロを始める。クラシックをはじめジャズ、ロック、現代音楽及び伝統音楽など数々の音楽家と出会い、即興演奏の音楽の世界も発見。2014年ベルギーブリュッセル王立音楽院に進学。物語の語り手のチェロ伴奏や、チェロ4重奏グループ BruXelloでの公演、独奏での演奏も行っている。常に開放的で生き生きとした精神性の表現で、聴く人に美しいエネルギーを与えることを目指している。

H29年4月7日(金) 18:30~19:30

会場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮島本浦 184
Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683

入場料 一般410円、高・大300円、小・中200円

主催 勘緑&木偶舎+阿波十郎兵衛屋敷

無伴奏チェロ組曲第1番ト長調 / J.S. バッハ
パブロ・カザルスによって、その価値が再発見された曲。チェロの聖典とも言われるバッハの代表作の一つ。

無伴奏チェロのための「BUNRAKU」 / 黛敏郎
太棹三味線のバチさばきや義太夫節の微妙な節回しを、チェロで効果的に表現した、極めて強い緊張感を持つ曲。
チェロによる道行き